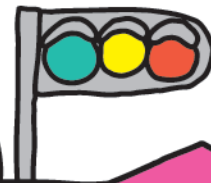


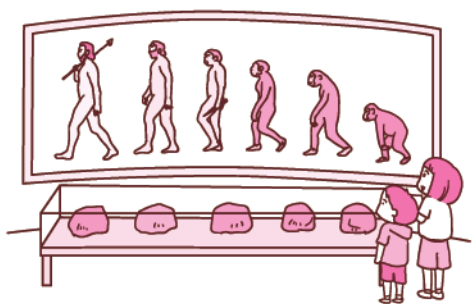
# 調べるって、 おもしろい!!

マンガでわかる 小学生の調べる学習ガイド

公益財団法人図書館振興財団・監修

岩崎書店編集部・編著





はじめに ..... 2

マンガ 調べる学習って、なに? ..... 8

登場人物紹介 ..... 12

### 第1章 テーマを見つけよう

マンガ「なんで?」からはじまるよ! ..... 14

テーマをさがす① どんなこともテーマになるよ ..... 16

テーマをさがす② おしゃべり・図書館・観察 ..... 18

やってみよう テーマの見つけかたチャート ..... 20

調べる学習テーマリスト ..... 22

マンガ「どうして?」という疑問を書いておく ..... 24

テーマが決まったら① 本を読んで知識をふやそう ..... 26

テーマが決まったら② 知りたいことをはっきりしほりこむ ..... 27

テーマが決まったら③ 答えを予想してみよう ..... 28

計画を立てよう ..... 30

### 第2章 図書館で調べよう

マンガ 図書館に行こう ..... 32

調べるじゅんぴ① やるべきことの計画を立てよう ..... 34

調べるじゅんぴ② 記録のしかたを考えよう ..... 36

### 第3章 もっと調べよう

図書館で調べる① 目的にあった本のさがしかた ..... 38

図書館で調べる② 本のならびかた ..... 40

図書館で調べる③ レファレンスを利用しよう ..... 42

コラム テーマが決まっていなくても、図書館は宝の山 ..... 43

パソコンで調べる① インターネットでさがす ..... 44

パソコンで調べる② 調べる学習に役立つおすすめサイト ..... 46

コラム 現場に立つともっとおもしろい ..... 48

マンガ だれに話を聞こうかな? ..... 50

インタビューをしよう① 人に会って話を聞く ..... 52

インタビューをしよう② じゅんぴやマナーを知っておこう ..... 54

アンケート調査① 人びとの考えや行動がわかるよ ..... 56

アンケート調査② やりかたとまとめかた ..... 58

問い合わせの方法① メールや手紙で質問やおねがいをする ..... 60

問い合わせの方法② 電話でちよくせつ聞いてみよう ..... 62

マンガ フィールドワークで調べよう ..... 64

博物館や資料館に行ってみよう① 目でたしかめられる ..... 66

博物館や資料館に行ってみよう② 貴重なものにふれる ..... 68

フィールドワークで調べよう① 五感で感じよう ..... 70

フィールドワークで調べよう② 目的をもって行く ..... 72

# テーマをさがす① どんなこともテーマになるよ

ふしぎだな、おもしろいな、  
やってみたいな、知りたいなと  
思ったことはある？

学校に行くときや友だちと話しているとき、  
本を読んでいるときなど、  
「あれ？」とか「なんだろう？」と  
ふしぎに思ったことがテーマになります。  
「これ、テーマになるかな？」という気づきの  
瞬間はいつでもどこにでもありますよ。



## 好きなこと

動物、植物、星、食べ物、  
スポーツ、ゲーム……  
いろいろあるけど、  
むちゆうになれるくらい  
大好きなものはないかな？  
好きなことならどんどん調べられるね。



## 身近なこと

ふだんのくらしの中で  
「なぜ？」とふしぎに思ったり、  
「おや？」となにかを発見したことはないかな？  
そんな疑問に思ったことがテーマになるよ。



## 学校で習ったこと

理科の実験、社会科見学、自然観察など、  
学校で教わったことの中で、  
「もうちょっと調べたい」  
「これもためしてみたい」と  
思ったことはなかったかな？  
教わったことをもとに  
さらにふかく調べられるよ。



## いつもとちがう場所で

親せきの家に行ったり、  
旅行に出かけたときに、いつもとはちがう  
なにかを見つけたことはないかな？  
おもしろそうだなと思うものに出あったら、  
それが調べてみる  
チャンスだよ。



## テレビや本などから

テレビや新聞のニュースなどを見ていて、  
「あれ？」としたり、  
「へえ」と感心したりしたことはないかな？  
それをもっと調べてみたら、  
意外な発見があるかもしれないね。



# 図書館で調べる① 目的にあった本のさがしかた

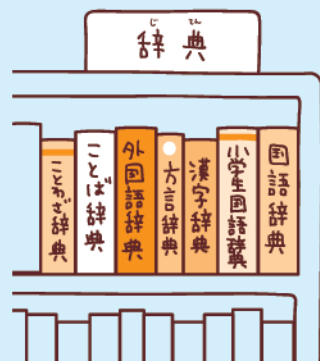
近くの公共図書館にも行ってみよう

図書館には、調べる学習に役立つ本がたくさんあります。国や県、市町村などが運営している公共図書館には、学校の図書室（学校図書館）よりも多くの本がそろっています。パソコンで本をさがしたり、司書さんにほしい本を教えてもらったりして、本を手に入れましょう。

図書館には調べる学習に役立つ本がたくさんある

最初に役立つのが、辞典や事典です。調べる学習用にシリーズ化された本や、新聞・雑誌、地図、記録映画などの映像資料もあります。本のさがしかたのページ（40～42ページ）を参考に、知りたいことがのつていそうな本をさがしてみよう。

## 辞典・辞書



たくさんの言葉やことばを集めて、言葉の意味や読みかた、内容を説明した本。国語辞典のほか、漢字辞典、方言辞典、外来語辞典などがあるよ。

## 百科事典・ことば事典



たくさんのことばについて説明している「百科事典」のほか、「人名事典」や「地名事典」など、特定のことばについて集めた事典もあるよ。

## 図鑑・年鑑・名鑑



図鑑は絵や写真、図やグラフなどをつかって、わかりやすく解説した本。年鑑はその年のできごとを集めた本。名鑑は同じ分野の人やものを集めた本だよ。

## 調べる学習用のシリーズ本



調べる学習をしている人のためにつくられた本。テーマごとにシリーズ化されているものもあるよ。

## 雑誌・新聞



世界の情報、くらしに便利な情報、いろいろな人の意見、天気予報、広告などたくさんの情報がつまった新聞や雑誌。調べる学習に役立つよ。

## 地図



図書館にはさまざまな種類の地図もあるよ。位置やきりを調べたり、地形を調べたりするのに便利。

## 写真集



「日本の城」「世界のねこ」など、テーマごとの写真を集めた本を見くらべるのもおもしろいよ。

## DVD（映像資料）



なにかをつくっているようすや、海のなかのようすなどを映像に記録したDVDなどもおいてあるよ。

### 知っておきたいこと

「目次」や「さくいん」を利用しよう

知りたいことがのつている本かどうかは「目次」を見るとわかります。

また、本のうしろに「さくいん」といって、のつている情報の言葉が五十音順にならんでいるページがある本もあります。知りたいことがどのページにあるかさがしてみよう。

「おくづけ」を見て、いつ出た本かを知る

本の最後のページの「おくづけ」には、その本が出た日付がのつています。「最新」の情報を知りたいときはなるべく新しい本を、昔の情報を知りたいときは古い本を、とつかいわけましょう。

複数の資料にあたらう

できれば2～3冊の本を読みくらべてみましょう。本は同じテーマでも書く人によって書いてあることがちがうことがあります。

170ページのワークシートをコピーして書いてみよう。まとめの設計図になるよ。



## ふりかえりシート

名前 本田空音

### ① なにを調べたか(テーマ)

うさぎのからだのしくみ

### ② なぜ調べようと思ったのか(テーマを決めた理由)

うさぎは、耳が長くてぴよんぴよんはねるところがかわいいです。どうしてそういう体になったのか、調べてみたいと思いました。

### ③ 予想や考え(調べる前に考えたこと)

わたしの予想は、耳が長いのは音をよく聞くため、ぴよんぴよんはねるのは高いところの草を食べるためだと思いました。

### ④ どうやって調べたか

図書館で図鑑や本を見て調べてから、くわしい人に話を聞きました。

### ⑤ 調べてわかったこと

うさぎの長い耳には、1.まわりの音をよく聞く、2.体温をちょうせつする、3.きもちを表すなどの役目があります。なかでも一番重要なのは、わずかな音も聞きのがさずに集める力です。うさぎはうしろあしの力が強く、両足で地面をけて走ります。ノウサギが本気を出すと時速72kmくらいで走れるそうです。

### ⑥ 調べる学習全体を通して、どう思ったか

うさぎの体には、肉食の動物から身を守るためのしくみがたくさんありました。肉食の動物に食べられてしまうのはかわいそうだけど、肉食の動物がいなくて、うさぎがふえすぎて食べる草がなくなって、やはり死んでしまうそうです。うさぎが草を食べ、そのうさぎを肉食の動物が食べ、肉食の動物が死んだら、それが草のえいようになって、いのちがつながっていることがわかりました。

### ⑦ 参考資料

『なぜ?の図鑑 動物』(学研教育出版) 『うさぎドリル』(新星出版社)  
『のうさぎ』(福音館書店)

# 調べたことを書く①

## 情報を整理しよう

「わかったこと」を  
まとめておこう

記録の整理(78〜79ページ)がすんだら、ここで全体をふりかえって、ノートや「ふりかえりシート」(170ページ)に、「わかったこと」を整理しておきましょう。まとめていくと、自分の知りたかったことが整理され、なにをどう書いた方がいいのかが見えてきます。つぎの手順でまとめてみましょう。

- ① なにを調べたか(テーマ)。
- ② なぜ調べようと思ったか(理由)。
- ③ 自分はどんなふうに考えて予想したか(仮説)。
- ④ どうやって調べたか。
- ⑤ 調べてわかったこと、わからなかったことはなにか。
- ⑥ 調べることをおして、どう思ったか。新たに生まれた疑問や感じたことなど。

頭の中が整理される



調べたことをふりかえりながら、すじ道を立ててまとめると、頭の中が整理され、考えがふかまるよ。

伝えたいことが見える



たくさんの中情報の中から、自分はなにが一番伝えたいのかが見えてくるよ。

新たな発見がある



見のがしていたり、聞きのがしていたことに気がついて、新たな発見をすることもできるよ。

自分の考えがわかる



調べたことについて、自分はどう思うのか、自分なりの意見や考えが出てくるよ。

# 報告文(レポート)にする③

## わかりやすい文を書く

### 報告文(レポート)の主人公は「ぼく」「わたし」

報告文(レポート)は、調べた情報をもとにして、人にわかりやすく伝えるために書く文章です。

でも、本やインターネットに書いてあった情報をそのまま写して書いただけでは、作品とはいえません。

自分の作品ですから、主人公はもちろん自分。「ぼく」や「わたし」が、なにを疑問に思い、どうやって調べ、なにを考えたかを「自分の言葉」で書いていきます。

それは世界にたった一つのストーリー。だから価値があるのです。



### つけた本や資料はその出どころを書いておこう

本などの資料に書いてあった情報を参考にして文を書いたときは、どの本のどのページを参考にしたのかという「出典」を書いておきます。博物館にあったパンフレットなどの資料も出典として明記します。

だれかが書いた文をそのまま自分の文の中にのせることを「引用」と言います。「」でくくったり、下線を引いたりして、自分の文とは区別します。

引用したときは、「この人は○○○ ○○と書いているけれど、自分はこう思う」と自分の考えも書くようにしましょう。

\* 162ページから「参考文献と引用」についての説明がのっています。

☑ かんて調べたら、次のように書いてありました。
ノウサギは、さいこうじそく
72キロメートルで走ることが
できます。
『なぜ?の図鑑 動物』、
学研教育出版、2015年、41ページ

引用文を線でかこんだそばに、出典を書いておくやりかたもあるよ。

☑ かんて調べたら、次のように書いてありました。
「ノウサギは、さいこうじそく
72キロメートルで走ることが
できます。」
(『なぜ?の図鑑 動物』、
学研教育出版、2015年、41ページ)

引用文を「」でくくったあとに、( )をつけて出典を書くやりかただよ。

### 線でかこんで区別

### 「」でくくって区別

知っておきたいこと

#### 出典の書きかた

【本の場合】  
著者名、書名、出版社名、出版年、ページ

【雑誌の場合】  
筆者名、記事のタイトル、ざっし名、出版社名、出版年、ページ

【新聞の場合】  
記事を書いた人の名前、記事名、新聞名、発行年月日、朝夕刊の別、ページ

【Webページの場合】  
Webページを制作した人・団体名、Webページ名、Webサイト名、更新年月日、URL、アクセスした日

※著者名がないときは、書名やタイトルから書き、書名・新聞名・ざっし名は『』でくくり、記事のタイトルは「」でくくるのが一般的です。

知っておきたいこと

#### 著作権と出典

ほかの人が書いた文や絵、写真はかっつてつかってはいけません。文や絵、写真などの作品には、それをつくった人に権利(著作権)があります。つかうときはその人の許可をもらわなければなりません。ただし、研究などでひつようなときは、「出典」(本のタイトル、著者、出版社など、だれの作品かがわかるデータ)をきちんと書くことで、許可をもらわなくてもつかうことができます。

